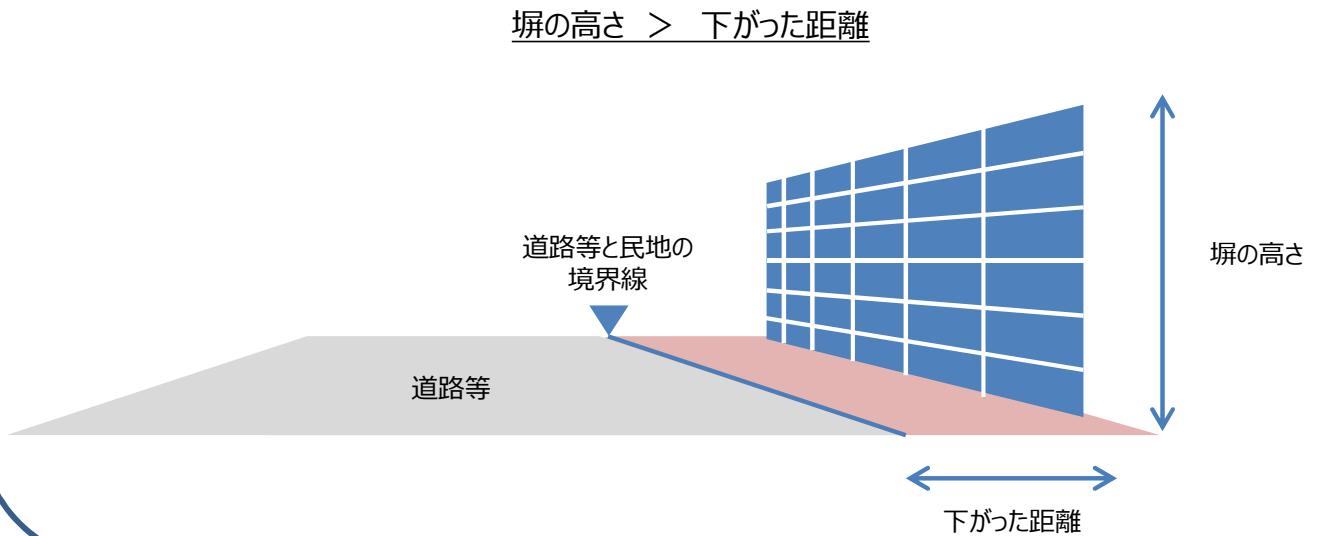


補助制度よくある質問

1. 対象となるブロック塀等について

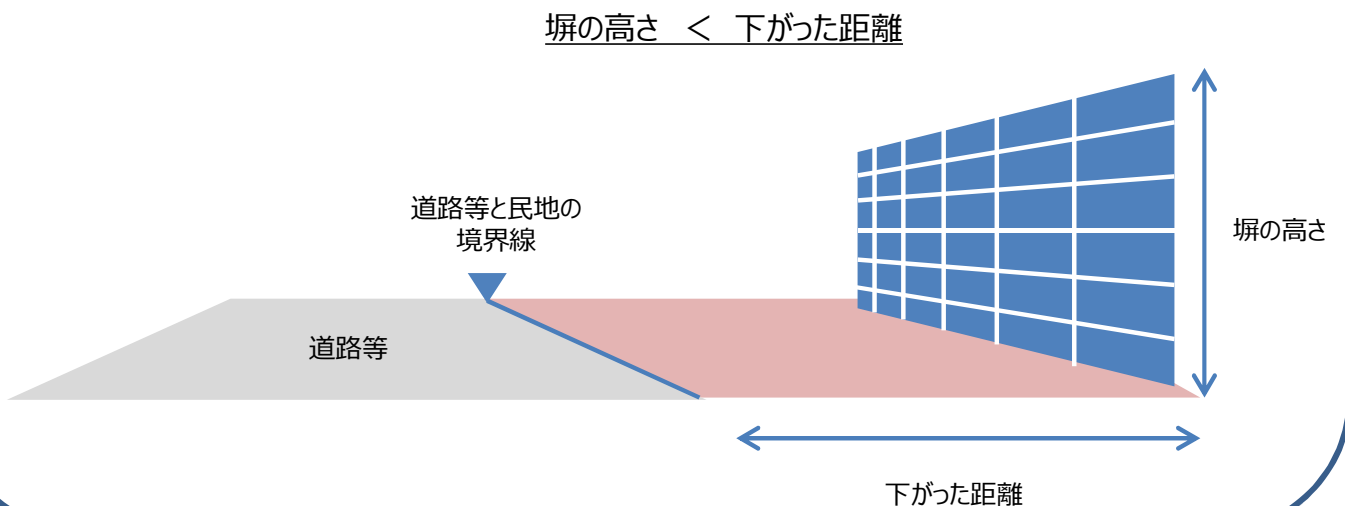
○ 補助対象となるブロック塀等 ○

道路等から下がっていて、下がった距離よりブロック塀等が高く、倒れた際に道路等に危険がおよぶ場合は対象となります。

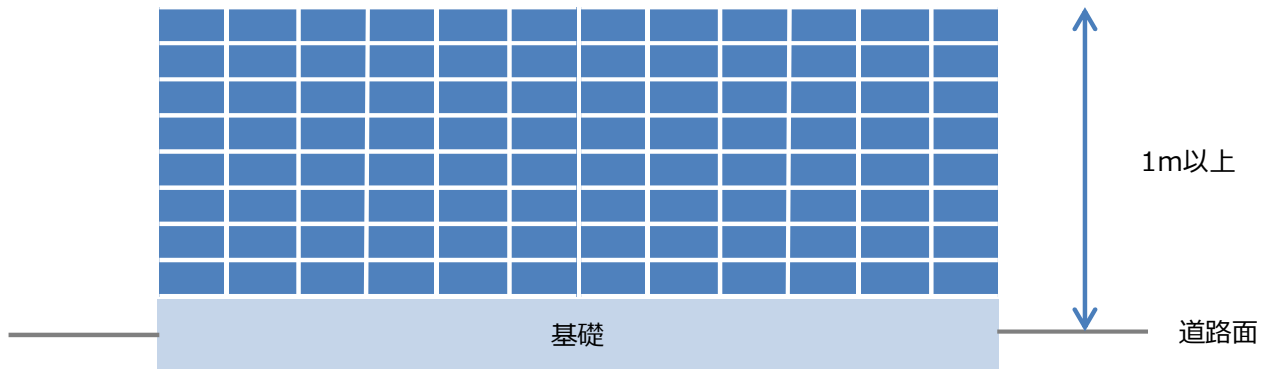


× 補助対象とならないブロック塀等 ×

道路等から下がっていて、下がった距離がブロック塀等の高さより長く、倒れた際に道路等に危険性がおよばない場合は対象外となります。

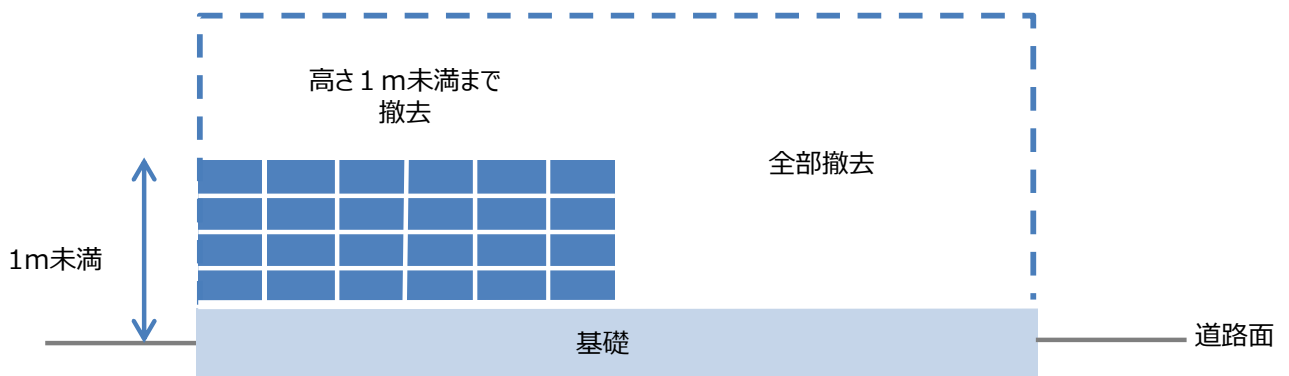


2. 撤去工事について



○ 補助対象となる撤去工事 ○

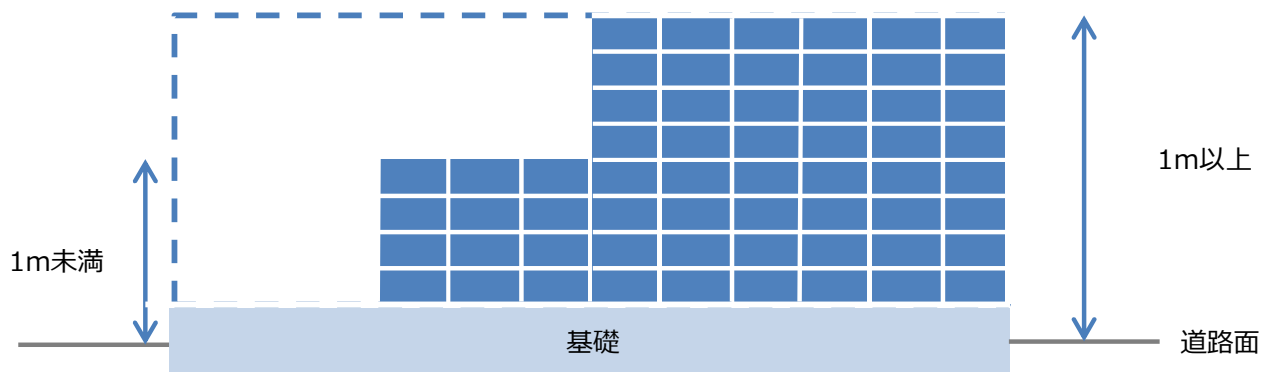
全部撤去か高さを道路面から1m未満にするものが対象です。



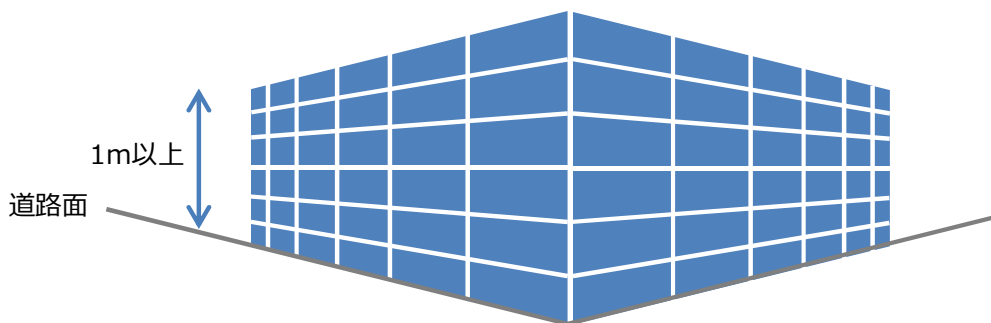
× 補助対象とならない撤去工事 ×

原則同一面上で一部を1m以上残すことはできません。

ただし、構造上必要なものは残すことができます。



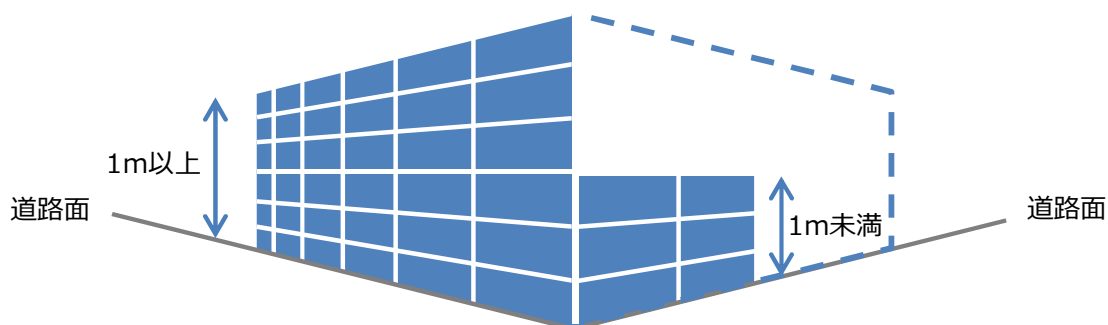
3. 角地でそれぞれ通学路等又は道路等に接している場合



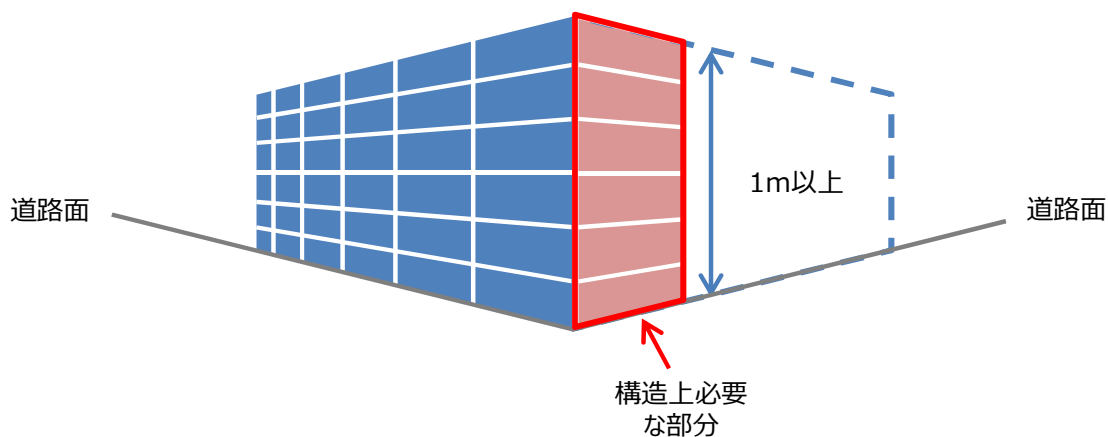
○ 補助対象となる撤去工事 ○

片面だけを全部撤去か 1 m未満にする場合も対象となります。

ただし、残したブロック塀等は所有者が適正に維持管理する必要があります。

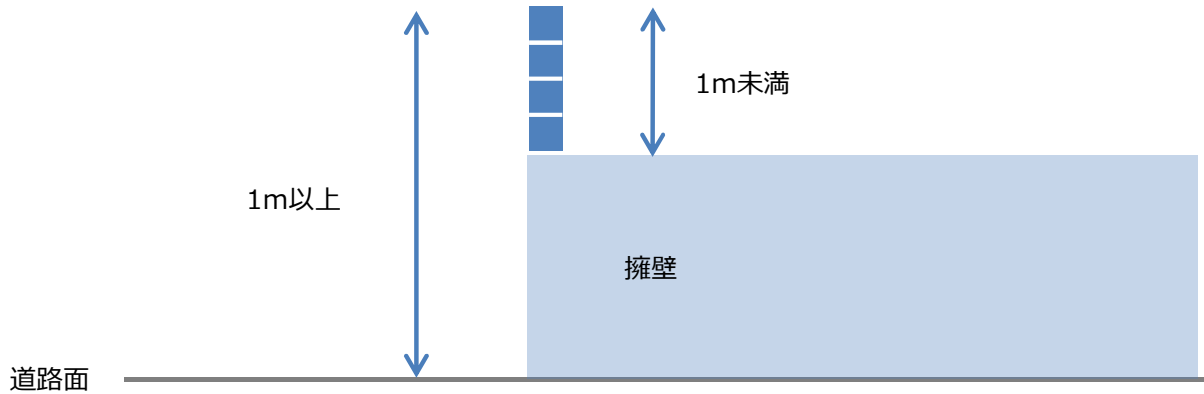


片面を全撤去し、残ったブロック塀等の控え壁として、構造上必要な部分を一部残す場合は対象となります。



4. 擁壁の上にブロック塀等がある場合

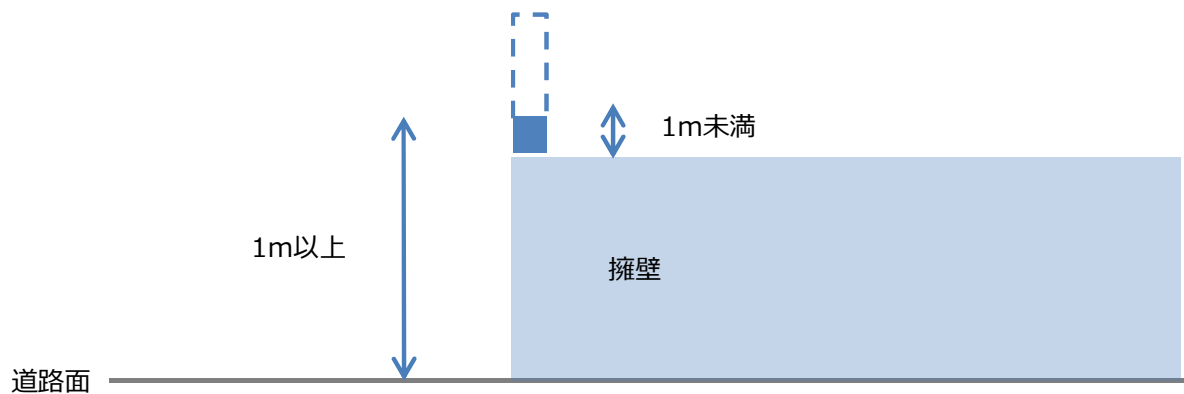
道路面からの高さが、1 m以上であれば、ブロック塀等が1 m未満でも補助対象となります。



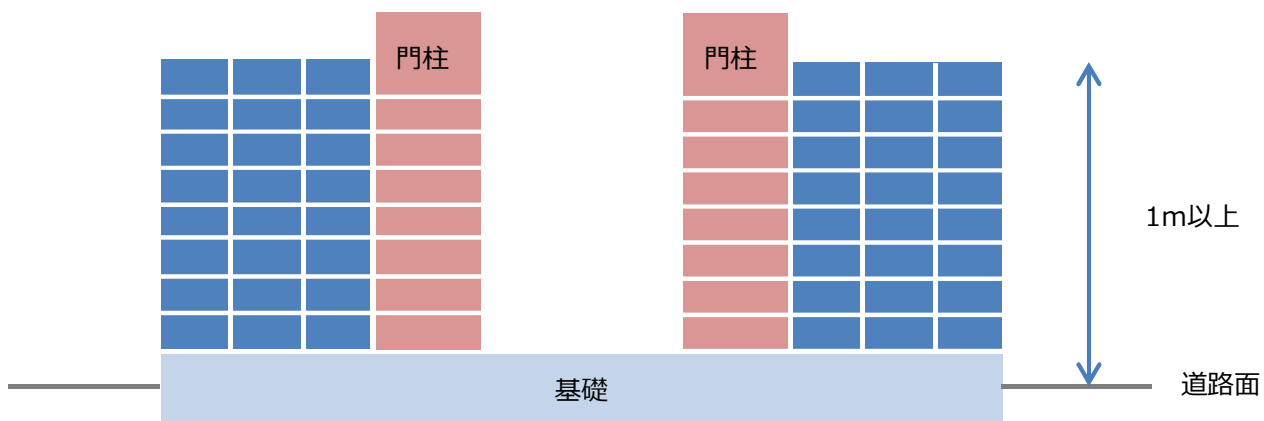
○ 補助対象となる撤去工事 ○

擁壁等の上のブロック塀等を全部撤去か高さを擁壁等の上端から1 m未満にした場合は、撤去工事後の道路面からの高さが1 m以上でも対象となります。

ただし、残したブロック塀等は所有者が適正に維持管理する必要があります。

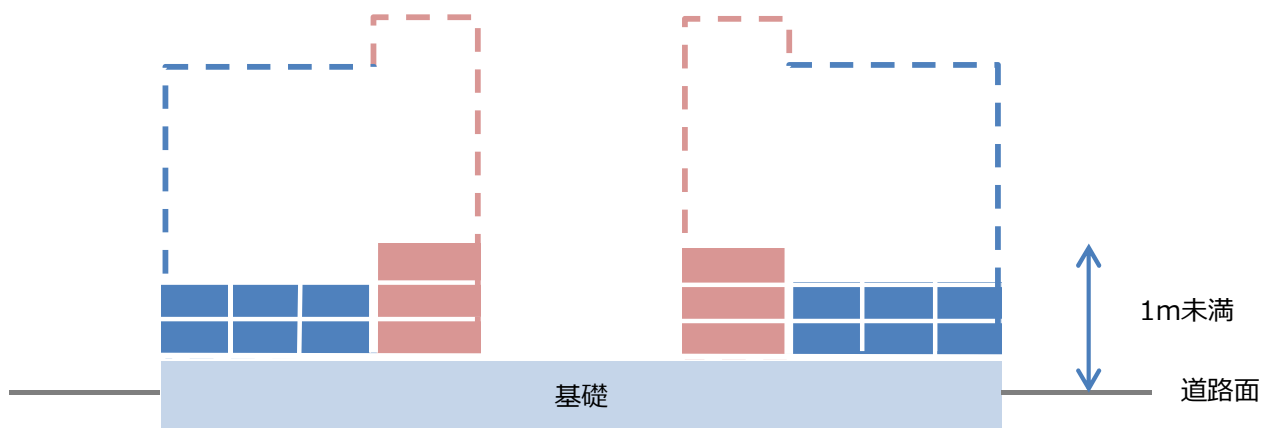


5. 組積造の門柱がある場合



○ 補助対象となる撤去工事 ○

全部撤去か高さを道路面から1m未満にするものが対象です。



× 補助対象とならない撤去工事 ×

ブロック塀等を撤去し、門柱のみを1m以上残すことはできません。

